

経済情勢  
コロンビア月例報告（1月分）

2012年2月  
在コロンビア日本大使館

I 概要

- 政府は11日、国際資本市場にて、15億ドルの30年物グローバル債（2041年1月18日償還、利回りは4.964%）を史上最低金利で発行した。
- 26日、コロンビア及びベネズエラ両政府は、ベネズエラがアンデス共同体（CAN）を脱退して以降延長してきた二国間関税撤廃措置について、30日間延長（期限は2012年1月22日であった）することで合意した。
- 2011年の自動車販売台数は、前年の253,869台から大幅増となる324,570台を記録し、過去最高を記録した2007年の253,034台を上回った。
- 30日、中央銀行理事会は政策決定会合を開き、政策金利を25ベースポイント引き上げ、5.00%とすることを決定した（2ヶ月振りの利上げ）。また、実質GDP成長率予想について、2011年は前年比+5.5%超、2012年は同+4~6%とした。

II 主な出来事

<国内情勢>

(1) 経済見通し

(ア) ディアス-グラナドス商工観光相（17日、当地紙報道）

ディアス-グラナドス商工観光相は、当国の目標として、2014年にはラテンアメリカにおいて、ブラジル、メキシコに次ぐ第3番目の経済大国になることを掲げた。また、達成には生産性の強化が不可欠とした。

(イ) エチェベリ財務相（31日、当地紙報道）

エチェベリ財務相は、実質GDP成長率予想として、2011年第4四半期は前年同期比+6.2%、2011年通年では同+6.0%を達成したと述べた。

(2) 経済政策

(ア) 厚生・社会保障相及び国家企画庁（DNP）長官の就任、対米FTA担当官の任命

(i) ベアトリス・ロンドーニョ・ソト前厚生次官は24日、厚生・社会保障相に就任した。

(ii) マウリシオ・サンタマリア前社会保障相は24日、国家企画庁（DNP）長官に就任した。鉱業採掘権収入のより公平な分配、企業及び雇用の正規化が主要課題となる。

(iii) エルナンド・ホセ・ゴメス前DNP長官は11日、対米FTA推進担当官に任命された。主要任務は、対米FTA発効に向けた国内課題の施行となる。

(イ) 国債発行

政府は11日、国際資本市場にて、15億ドルの30年物グローバル債（2041年1月18日償還、利回りは4.964%）を史上最低金利で発行した。165超の機関投資家からの応募額は約36億ドルであった。今次発行は、対外公的債務の借換え及び2012年資金調達計画における外債調達に充てられるとした。

（ウ）エチェベリ財務相、ラテンアメリカ最高の財務相に選出される

エチェベリ財務相は13日、America Economía誌がエコノミスト70名に対して実施したアンケートの結果、ラテンアメリカで最高の財務相に選出された。安定したマクロ経済、発展に繋がる政策及び改革の推進等が評価された。

（3）企業動向：パシフィック・ルビアレス社（11日、当地紙報道）

カナダ石油大手のパシフィック・ルビアレス社のパンティン社長は、2012年中の投資計画額は12億ドルと発表した。これにより石油生産量日量25.1万バレルを目指す。

（4）その他：電力供給（30日、当地紙報道）

ゴンザレス・エネルギー次官は、今般、マグダレナ県のTermonorte発電所及びアンティオキア県のPorvenir II発電所の両プロジェクトが認可されたのに伴い、2021年までの電力供給は確約された旨発表した。各発電所はそれぞれ2017年、2018年に稼働開始する。

<対外関係>

（1）対米FTA関連

（ア）サントス大統領は11日、米・「コ」FTAの発効に向けた措置（8ヶ月～1年を要するとみられる）の推進のため、コロンビアを訪問中の米議員等と会談した。

（イ）ゴメス対米FTA推進担当官は、同FTA発効に伴い、30万人の雇用が創出され、最初の3年間で輸出は15億ドル増加するだろうとした。

（2）対EU・FTA関連（9日、当地紙報道）

スペイン政府はEUに対し、コロンビアの対米FTA発効が迫っていることから、両国とのFTA署名を急ぐよう要求した。

（3）対ベネズエラ関係

26日、コロンビア及びベネズエラ両政府は、ベネズエラがアンデス共同体（CAN）を脱退して以降延長してきた二国間関税撤廃措置について、30日間延長（期限は2012年1月22日であった）することで合意した。この間に部分到達協定に関する交渉終了が期待される。

（4）対韓FTA関連

26日、ボゴタにて「韓国とのFTAによるリスク」と題したフォーラムが開催され、自動車部品メーカーを中心とした企業経営者、労働者、労働組合、学者、生徒及び議員等は、韓・「コ」FTAに反対する旨表明した。フォーラムでは、同FTAにより、国内製造業は価格

及び技術面で太刀打ちできない家電、自動車、自動車部品、機械及び製鉄等との競争にさらされ衰退し、輸出は食料、繊維やプラスチックが中心となり、コロンビア経済は 1990 年代の鉱業及びサービス業依存型に回帰、雇用が奪われると結論づけられた。

## <経済指標>

### (1) 経済活動全般

#### (ア) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

11 月の実質工業生産指数 (コーヒー豆加工を除く) は前年同月比+6.5%と、前月の同 4.9%から上昇した。特に肉・魚製品の加工 (同 21.5%)、飲料加工 (13.4%) 及び製粉及び澱粉 (13.3%) の伸びが大きかった。

#### (イ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

11 月の実質小売売上高指数は前年同月比+1.3%であった (前月は同+6.2%)。

#### (ウ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

12 月の消費者信頼感指数 (ICC) は 29.8%と前月 (23.6%) から 6.2%ポイント上昇した。なお、前年同月は 16.7%であった。

### (2) 産業動向

#### (ア) 原油生産量 (国家炭化水素庁 (ANH) 発表)

12 月の原油生産量は日量 93.0 万バレル (エコペトル関連同 80.8 万バレル、その他同 12.2 万バレル) であった。この結果、2011 年の平均生産量は日量 91.4 万バレルとなった。

#### (イ) コーヒー

##### (i) 生産及び輸出 (コーヒー生産者連合会 (FNC) 発表)

FNC 加盟コーヒー生産者による 12 月のコーヒー生産量は、前年同月の 116.4 万袋 (1 袋 =60 kg) から 73.5 万袋へと減少した。同輸出量についても、110.5 万袋から 85.7 万袋へと減少した。また、輸出額についても前年同月の 3.4 億ドルから 3.0 億ドルへと低下した。

この結果、2011 年通年の生産量は 780.9 万袋 (前年は 899.1 万袋)、輸出量は 773.4 万袋 (前年は 782.2 万袋)、輸出額は 28.5 億ドル (前年は 22.1 億ドル) であった。

##### (ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

12 月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均 1 ポンド=2.52 ドル (前月は同 2.57 ドル、前年同月は同 2.62 ドル) であった。

#### (ウ) 新車販売 (Econometria 社発表)

2011 年 12 月の新車販売台数は前年同月比+5.5%の 29,961 台であった。2011 年通年では前年の 253,869 台から大幅増となる 324,570 台を記録し、過去最高を記録した 2007 年の 253,034 台を上回った。メーカー別内訳 (暫定値) をみると、Chevrolet が 33%、Renault が 15%、Hyundai が 9%、KIA が 8%であった。また、自動車販売額は、2009 年の 6.1 兆ペソ、2010 年の 9.2 兆ペソを越える約 10.0 兆ペソとなった。

#### (エ) 外国人訪問者 (コロンビア移民 (Migracion Colombia) 発表)

2011年の当国への外国人訪問者数は1,584,945人（うち1,062,000人は観光目的）であった。なお、ディアス-グラナドス商工観光相は21日、2014年における外国人観光客数の目標は4百万人と述べた。

### （3）物価・雇用（DANE 発表）

#### （ア）物価

12月の消費者物価上昇率は+3.73%（前年同月比、以下同）であった（2010年12月は3.17%）。前月に続き食料品価格（+5.27%）及び教育（+4.57%）の上昇が加速した。なお、中銀のインフレ目標は3±1%。また、12月の生産者物価上昇率は5.20%（2010年12月は+4.38%）であった。

#### （イ）雇用

12月の全国平均失業率は9.2%（前年同月は11.1%）と、4ヶ月連続して政府目標の1桁台を達成した。12月の失業者数は225万人と、前年同月から18.8万人減少した。なお、主要13都市の平均失業率は、前年同月の11.3%から10.4%へと低下した。

### （4）金融：金融政策

30日、中央銀行理事会は政策決定会合を開き、インフレ懸念から、政策金利を25ベーシスポイント引き上げ、5.00%とすることを決定した（2ヶ月振りの利上げ）。また、実質GDP成長率予想について、2011年は前年比+5.5%超、2012年は同+4~6%とした。

### （5）税収（国税・関税庁（DIAN）発表）

12月の税収は前年同月比+20.1%の5.3兆ペソとなり、内訳は所得税（2.1兆ペソ）、付加価値税国内徴収分（0.9兆ペソ）、金融取引税（0.5兆ペソ）、関税（0.4兆ペソ）及び付加価値税国外徴収分（1.4兆ペソ）等であった。2011年通年では前年比+23.3%の86.7兆ペソとなった。

### （6）貿易収支（DANE 発表）

11月の貿易収支（FOB）は、前年同月の1.6億ドルの赤字から0.7億ドルの黒字に転じた。輸入（CIF）は前年同月比+33.1%の50.6億ドルと、燃料・鉱物油・同製品が同+430.8%の高い伸びを示した。輸出（FOB）は、伝統産品が同+48.8%（うち石油・同製品は同+60.8%、石炭は同+34.3%）、非伝統産品が同+30.4%であった。

### Ⅲ. 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	10/11	11/9	11/10	11/11
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	4.7	4.9	4.9	6.5
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	6.1	6.1	3.3	5.7
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	22.3	8.5	6.2	1.3
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	224.1	175.3	151.7	164.9
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	10/12	11/10	11/11	11/12
(ア) 全国平均	11.1	9.0	9.2	9.8
(イ) 主要13都市平均	11.3	10.2	10.3	10.4
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	10/12	11/10	11/11	11/12
(ア) 前月比	0.65	0.19	0.14	0.42
(イ) 前年同月比	3.17	4.02	3.96	3.73
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	11/1	11/11	11/12	12/1
	3.00	4.75	4.75	5.00
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	11/1	11/11	11/12	12/1
(ア) 月初	1,913.98	1,871.49	1,948.51	1,942.70
(イ) 月末	1,857.98	1,967.18	1,938.52	1,815.08
(ウ) 最高値	1,838.94	1,871.49	1,920.16	1,801.88
(エ) 最安値	1,913.98	1,967.18	1,949.56	1,942.70
(6) 株式指数IGBC (単位：ポイント，出所：「コ」証券取引所)	11/1	11/11	11/12	12/1
(ア) 月初	15,368.27	13,077.68	12,924.52	12,735.77
(イ) 月末	15,077.93	12,924.33	12,665.71	13,863.33
(ウ) 最高値	15,368.27	13,256.92	13,001.24	13,766.91
(エ) 最安値	14,798.71	12,151.08	12,314.19	12,735.77
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	10/11	11/9	11/10	11/11
(ア) 輸出額 (FOB)	3,426.1	4,481.8	4,713.5	4,882.0
(イ) 同 年内累計	35,974.0	41,521.5	46,297.3	51,179.3
(ウ) 輸入額 (FOB)	3,587.1	4,819.1	4,610.2	4,811.0
(エ) 同 年内累計	34,586.5	38,285.9	42,896.1	47,707.0
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	10/12	11/10	11/11	11/12
	423.5	359.0	362.0	-
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	11/1	11/11	11/12	12/1
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,099.18	8,621.78	8,628.43	8,707.40
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：Econometria社)	10/12	11/10	11/11	11/12
(ア) 単月	25,556	25,828	29,382	29,961
(イ) 年内累計	253,869	268,227	297,609	324,570

(了)